

当社に債務返済能力はない

**啞然! JAL
社内報で認**

西松社長がめた 経営危機

SCORP 自主再建のた

松本、岩崎、山崎、田中、佐藤、鈴木、高橋、渡辺、山本、清水、石川、木村、山口、斎藤、高木、山田、中村、森田、小川、藤田、佐々木

本誌の追及に、かたくなに「経営危機」を否定してきた日本航空が、ついに観念した。西松通社長がようやく事態の深刻さを、社内報で明らかにしたのだ。事実を認めた経営者としての勇気は評価しよう。だが、断るあまりに遅かった。JAL再生への道はさわめて厳しい。

再生の道が閉ざされる

まず最初に、西松雄(日本航空社長)が経営危機の事態を認めた文章を、紹介しよう。

提議したのは、W社社長、L・Y・SORENという、本社ならびに関連会社の社員を対象とした「A」グループの社内刊である。今年11月13日付の「特別版」として発行

されたこの「グループ」西松氏は「グループ」CEO（最高経営責任者）の肩書で、「自主推進のために」として、会社の

[illegible]

町田徹
（ジャーナリスト）

これまで対外的に経営危機を否定してきたのは方便で、いまやそんなこまかしが通用しない瀬戸際にあるというのである。

えない百八十度の転換を、
「この瞬間です」
「現在、J・Lグループは、
急激な存亡のときにあります。
このような言葉を使っている、
皆さんは唐突に感ずる、
けれどもそれは事実です。今ま
で私が「危機感」がある、こと
を説明して「なかなか」の
は、社外との関係において
は、そのことがまぎらな危機
を助長する側面があったこと
が、これは今、出
性がおかれた現状を皆さん
に正確にお伝えするべき時
にきていると感じています」

定してきた日本航空が、深刻さを、社内報で明気は評価しよう。だが、わめて厳しい。

[illegible][illegible]

は本日学術員、社内会合で「サービスが大変かつた」と述べている。これは経営界の悪しき慣習、「機材運送問題」の後出だ。

最後にうひつ、増殖出身の西松社長は、大きな窮乏を感嘆している。それは経営界の悪しき慣習、「機材運送問題」の後出だ。

計上していた。巨額のリベットの存在に驚くが、問題はこれに増殖だ。本業は航空機を買ったが、経営が苦しいが、利益は少ない。これはリベットの存在に驚くが、問題はこれに増殖だ。本業は航空機を買ったが、経営が苦しいが、利益は少ない。

へる計を取りやめた。本業なら、リベットの存在に驚くが、問題はこれに増殖だ。本業は航空機を買ったが、経営が苦しいが、利益は少ない。

と切々、注目を集めて計上し直さなければならぬ。JALにとって、最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。社内報で経営危機を明らかにした。最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。



▲10月1日、歴代の客室乗務員の制服をずらりと並べ、新生JALのスタートをアピールした。

役員、幹部の全土への乗り換えラッシュが起きたというのだ。

トッパ営業で相手に大観望。これも、この中興期では、日本株や東洋銀行株の売却が先だ。これは、最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。

うのである。これをおかしな会社だ。このように、利益は、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。

に懸念になっている。ところが、これが、西松の足がかりだ。最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。

言の葉をみてもわかる。野心の燃焼については、JALは、最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。

の、これは、最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。

トッパ営業で相手に大観望。これも、この中興期では、日本株や東洋銀行株の売却が先だ。これは、最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。

うのである。これをおかしな会社だ。このように、利益は、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。

に懸念になっている。ところが、これが、西松の足がかりだ。最近、過去4年間にわたる有価証券の買入は大きな痛手である。しかも、乗り換えれば、特等客の負担は大きく減るだろう。自宅から出かける有価証券を本業に転売した。